

新にいがた住まいの基本計画の全体構成（案）

資料5

1. 計画の目的と位置付け

- 1-1 新にいがた住まいの基本計画策定の背景
 - ・現計画策定時からの新潟市の動き、住生活基本法の制定、国・県の住生活基本計画策定、新潟市総合計画の次期計画の策定、現計画の計画期間終了に伴う新計画の策定の必要性など。
- 1-2 計画の目的
 - ・住宅政策を取り巻く諸環境の変化と関連する法制度等の動向をふまえ、新潟市の住宅政策の新たな指針となる計画を策定することを目的とする。
- 1-3 計画の位置付け
 - ・次期総合計画の総合的なまちづくりの方針に即して、住宅分野における基本的な方針を定めるもの。
 - ・「住生活基本法」に基づく国の「住生活基本計画」及び県の「新潟県住生活マスタープラン」と整合を図り、且つ新潟市の特性を取り入れた計画とする。
- 1-4 計画の期間
 - ・次期総合計画の計画期間との整合を図り、施策の効果・社会情勢等の変化により、必要に応じて見直しを行う。
- 1-5 計画の枠組み

H25 推進有識者会議から意見をいただいた事項

2. 住宅・住環境の現状と課題

- 2-1 住宅・住環境をめぐる現状分析
- 2-2 住宅・住環境をめぐる社会情勢
- 2-3 新潟市における住まいづくりの課題
 - ・安心・安全、高齢者、子育て世帯、住宅セーフティネット、住宅性能、住宅ストック、住環境等

H26 策定有識者会議での検討事項

3. 基本理念（目指すべき姿）

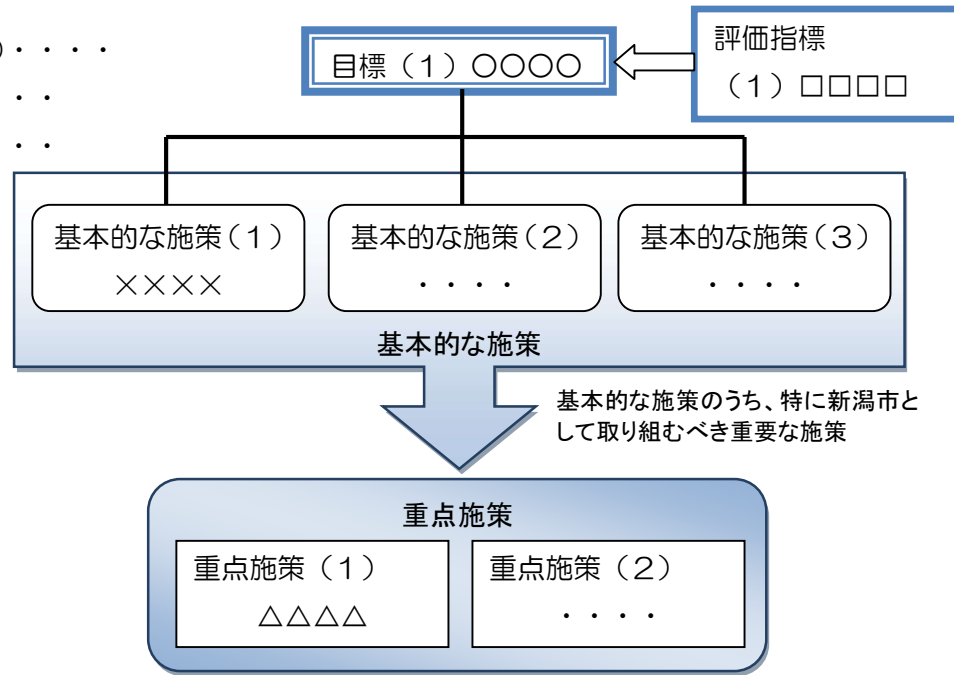
- 3-1 基本理念（※次期総合計画のあるべき都市像と整合）

4. 目標・基本的な施策・重点施策・評価指標

○安心・安全、高齢者、子育て世帯、住宅セーフティネット、住宅性能、住宅ストック、住環境等の各課題別の目標を設定し、それぞれに基本的な施策、重点施策、評価指標を設定する。

4-1 目標（1）○○○○

- 基本的な施策 (1) ××××、(2) ……
- 重点施策 (1) △△△△、(2) ……
- 評価指標 (1) □□□□、(2) ……



4-2 目標（2）……

- ・
- ・
- ・

H26 策定有識者会議からの意見を反映

5. 計画の実現に向けた推進方策

- 5-1 住宅施策の推進手法
- 5-2 市民のための住情報の提供
- 5-3 住宅施策の実施状況の検証と見直し
 - ・推進有識者会議による実施状況の検証と管理、社会情勢等により必要に応じて計画の見直しを行う。